

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」出町柳校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別療育でその子に応じたオーダーメイドの療育。	・指導員間での情報共有をしている。 ・児童の課題を見つけて内容を選定している。 ・児童が楽しいと思える内容を考えている。 ・本児の様子を見てその日の内容を調節している。	・保護者と話す時間をより確保できるようにして園や家庭の様子を聞き取っていく。 ・子どもの様子や取り組み内容について職員全体で共有をしていく。 ・より楽しく意欲的に取り組むため内容を工夫する。
2	・保育士や認定心理士の資格を持っている職員がいる。	・知識や経験を活かした療育を考え一人ひとりに合った内容に取り組んでいる。 ・内容や対応に困った時は資格や経験が多い職員に聞くようにしていく。 ・保護者に対して経験を活かした助言を伝えている。	・知識などを他の指導員にも共有していく。 ・困った時など聞ける時間や環境を整えていき職員一人ひとりが知識を得られるようにしていく。
3	・送迎時に保護者との関りが多い。	・療育時間内に来所して頂き様子ややり取りを実際にみってもらう。 ・家庭での困り感、様子を聞き対応策や方法を伝えていく。 ・話す時間を確保できるようにしている。	・療育を見もらうための声掛け等を行っていく。 ・家庭や園の様子を聞く中で変化や成長にも気づき伝えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・集団での活動が少ない。	・時間の調節が難しい。 ・利用時間のスケジュールが合わない。	・小集団の活動について周知していく。 ・土曜日や長期休みを利用してスケジュールを組み立てていく。 ・児童の課題によって他児と関わる時間を設けていく。
2	・通所を希望されても空きがないためすぐに案内ができない。	・継続して利用している方が多く卒業が少ない。 ・夕方の時間帯に利用している方が多い。	・空きが出た場合ご連絡をする。 ・適宜、課題や成長など確認していき子どもに合った居場所を提案していく。
3	・支援室が少ない	・使用できるスペースに限りがあることが要因。 ・個室だと遊ぶ範囲が限られているため取り組みが難しい。	・教室の割り振りなど工夫して支援を取り組んでいく。 ・時間によって空いている部屋があれば促していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」出町柳校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 9

回収数 5

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	1		1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4			1	来年から幼稚園ですが連携を希望しているためお願いします。	連携の時期なども保護者様と相談させて頂きながら機会を設けていきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	1	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	5					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4			1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5				発達に不安な時があるため資格を持っている先生に意見を聞けるので助かります。	不安や困り感などについては適宜伺いながら安心して通所できる環境を整えております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2		1	2		保護者同士の連携は行っていないが要望や必要性を感じたら検討していきたい。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1		1	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5				先生方が笑顔で接してくださるのが嬉しいです。今後も安心できる雰囲気、環境を継続して頂けると助かります。	今後も安心して楽しく通って頂けるよう心がけてサポートさせていただきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5					
	29	事業所の支援に満足していますか。	5					引き続き、利用者及び保護者の方に満足していただけるように努めたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」出町柳校					公表日	2025 年 2 月 14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		大きな部屋と個室があり、パーティションを活用しながら適切なスペースを確保できている。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用者1名に対して指導員が1名配置され、また担当制にしているため、子どもの状態を理解して支援を提供できている。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもの性格や特性に合わせた環境作りをしている。	車いすの場合、トイレの出入りは困難となる。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		始業してすぐに全職員で掃除を行っているため、教室の清潔感はある。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもの性格や特性、同時刻に支援している他児の状況を踏まえ、臨機応変に対応することができている。					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		始業後にMTを行っており、その際に職員間で共有があり、振り返りや改善に努めている。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートで寄せられた意見を把握し、改善に努めている。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		MTが職員の意見を共有できる時間となっている。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		監査で受けた評価について、職員間で共有され、業務改善に努めている。					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修が月に1度行われている。					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		各職員が利用者一人一人に合わせた支援プログラムを作成している。引継ぎの際には、担当指導員より支援プログラムについて丁寧な共有がある。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		見学・体験時の子どもの様子や保護者からの情報をもとに、適切なアセスメントを行ったうえで計画を作成している。					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当指導員と相談を行いながら作成することが出来ている。					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画について児発管から指導員へ共有があり、それをもとに支援を行っている。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内のアセスメントシートを通して、確認することができている。					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを踏まえ、子どもの特性や状況に応じた目標設定と支援内容が適切に行われている。					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		週2、3で来所されている利用者の中には、複数の指導員で担当しており、支援プログラムを共有・引継ぎしている。					

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもの性格や特性、達成度、興味関心などを踏まえ、内容を柔軟に変更・工夫しながら支援を進めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団療育の対象となる利用者には、積極的に集団活動を案内し、支援計画の作成・支援を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝のミーティング時に利用する子供の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		担当以外の利用者の支援を実施した後は、担当指導員に引継ぎを行っている。その際に、利用者の様子や気付いた点について共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		当日または翌日に記録を取ることができおり、次回の支援に向けてどのように改善するかを考えられている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングは児発管が半年に1回行っており、適切な見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		関係機関との連携に関しては、児発管と担当指導員が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		利用者が通う園や他事業所から問い合わせがあった際には、園に出向いたり相手側が見学に来たり、電話にて連携を行ったりしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様からの希望があれば行う。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様からの希望があれば行う。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		FBや家族支援の時間の中で、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族支援の時間を通して、保護者から相談を受け、指導員と情報共有を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		管理者から契約時に必要な説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		半年に一度のモニタリングを行う際に、子どもや保護者からの意向を確認し、支援計画を作成している。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		半年に一度確認を行い同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		FB時に悩みや相談事をお聞きする中で、時間が必要な場合には家族支援を促し、実施している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		必要に応じて行っていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申入れがあった際には、児発管と指導員が情報共有を行い、迅速かつ適切に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に一度HPに支援の様子やお知らせなどを発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載されている書類は、鍵付きの書庫に保管しており、必要のない時は常に鍵が閉まっている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		特性や性格に応じて、意思疎通が図れるよう工夫できている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的に研修や訓練を行い確認している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に研修や訓練を行い確認している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に利用者について詳しく聞き確認をしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	支援時間に食事をすることはない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		利用者のケガにつながるような物を支援時に置いていないか等、十分に配慮して支援を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		災害が行った際の避難場所については、利用契約時に児発管よりご家族に周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		月末に職員全体でヒヤリハットを確認し、再発防止策を考え、全体で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を通じて知識を深め、適切な対応方法について理解を深めることができている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に必要な説明を行っている。記載する際は保護者様から了承を得ている。	